

託児所の子供たちがハロウィン仮装

10月31日のハロウィンの日、城西病院の院内託児所の子どもたちは仮装をし、お菓子を求めて病院など達生堂グループを巡り歩きました。

ハロウィンは、秋の収穫を祝って悪霊を追い出す行事で、仮装を楽しむお祭りとして、年々盛大になり、定着してきました。託児所では毎年、子どもたちがカボチャのお化けに変装して、病院などを回ってお菓子をもらっています。

今年もカボチャのお化けに変装した子どもたちは、託児所を出発。お菓子を求めて城西病院の旧玄関まで歩き、「トリック・オア・トリート（お菓子がないといたずらするぞ）」と呪文を唱え、スタッフからお菓子をもらっていました。

ニューヤマザキデイリーストア城西病院店では、大鉢いっぱいのお菓子を小さな手でわしづかみにし、袋に入れていました。

今年は社会福祉法人達生堂の介護老人保健施設「すばる」も訪問。利用者さんからお菓子を手渡されて、ニコニコ顔。利用者さんは「かわいいね」と子供たちと握手をして、楽しいひと時を過ごしていました。

2019年10月31日

